

思いやりある金型メーカーは世界を目指す！

株式会社 内山精工

金型メーカーの付加価値

「得意分野は？」という質問に株式会社内山精工副社長・内山博達氏は、「いわゆる難しい金型です」と照れながら答えた。

同社は静岡県磐田市という土地柄、楽器関連の金型を手がけることからスタート。現在は難易度の



精鋭揃いの設計部隊が内山精工の品質を担う

高い自動車外装部品の金型製造が9割を占める。とくに本物の木のプレートに金型にインサートして成形したシフトコンソールやメーターパネルなどの意匠物に強く、その評判を聞きつけて引き合いに来るメーカーは多い。最近では、自動車内部の機構部品への要望も増えてきている。

この設計力が強みとなり、金型の特殊性を求める自動車一次メーカーのクライアントに対し、試作段階から内山精工の設計者が相談役としてコンサルティングに入るなどの実績も持つ。一次メーカーとの連動は、量産を見越した金型設計として内山精工の付加価値を高めている。

人材育成やパテント購入は 思いやりを実現するため

内山氏はさらなる付加価値を追求するうえで思いやりをキーワードに置く。「思い

やりを持った金型づくりは、次工程の成型メーカーさんはもちろん、製品メーカー、製品を利用するエンドユーザーまでを広く意識し、彼らを満足させる機能を備えた金型づくりを志向することによって成り立つんです」

内山精工はそのために人材を育成し、設計力を強化した体制構築に力を入れていると言う。具体的には、トロント大学との共同開発や各メーカーとの連携により技術力を高め、必要とあらば金型の機能を向上させるためのパテント購入も積極的に行う。また、金型設計部門の増員にも取り組んでおり、全社員の約30%を占める設計部門社員を、今後は50%まで引き



「小さな頃から工場で育った」と話す内山副社長

上げる予定だ。これら施策は、すべて思いやりを実現することに寄与し、同社ならではの強みとなっている。

金型技術を持って世界で戦う

内山氏は海外展開に強い挑戦心を抱く。しかし、海外といっても安価な労働力を求めるアジアへの展開ではない。欧米、特にドイツ・スペイン・イタリアなどのヨーロッパに進出をもくろんでいる。「金型技術は日本が世界最高。でも、要素技術やアイデアはヨーロッパが強い」

そんな内山氏の想いが、エンジニアとして欧州での事業に可能性を感じさせると言う。「海外に出るには自社技術のパテント化などにより知財強化が必要」と欧州進

出の準備を進める。

「他者に追いつかれない金型を持って行きたい」内山氏は力強く、笑顔で語った。

編集部／小宮山靖裕



本物の木のプレートを金型にインサートして成形した自動車のパネル

Company Profile

株式会社 内山精工

所在地：静岡県磐田市匂坂上 639 番地
TEL：0538-38-4611 FAX：0538-38-4612

担当者：代表取締役副社長 内山博達

事業内容：自動車内外装部品・電子楽器・家電等のプラスチック用金型の設計・製作

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?79035>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「内山精工」で検索できます。



会社情報